



スタンドグラス 作品名「彩碧～希望の光」/デザイナー 角本丈治氏作



3層吹き抜けのエントランスホール



大診療室



グランドピアノ/福岡歯科大学同窓会 寄贈

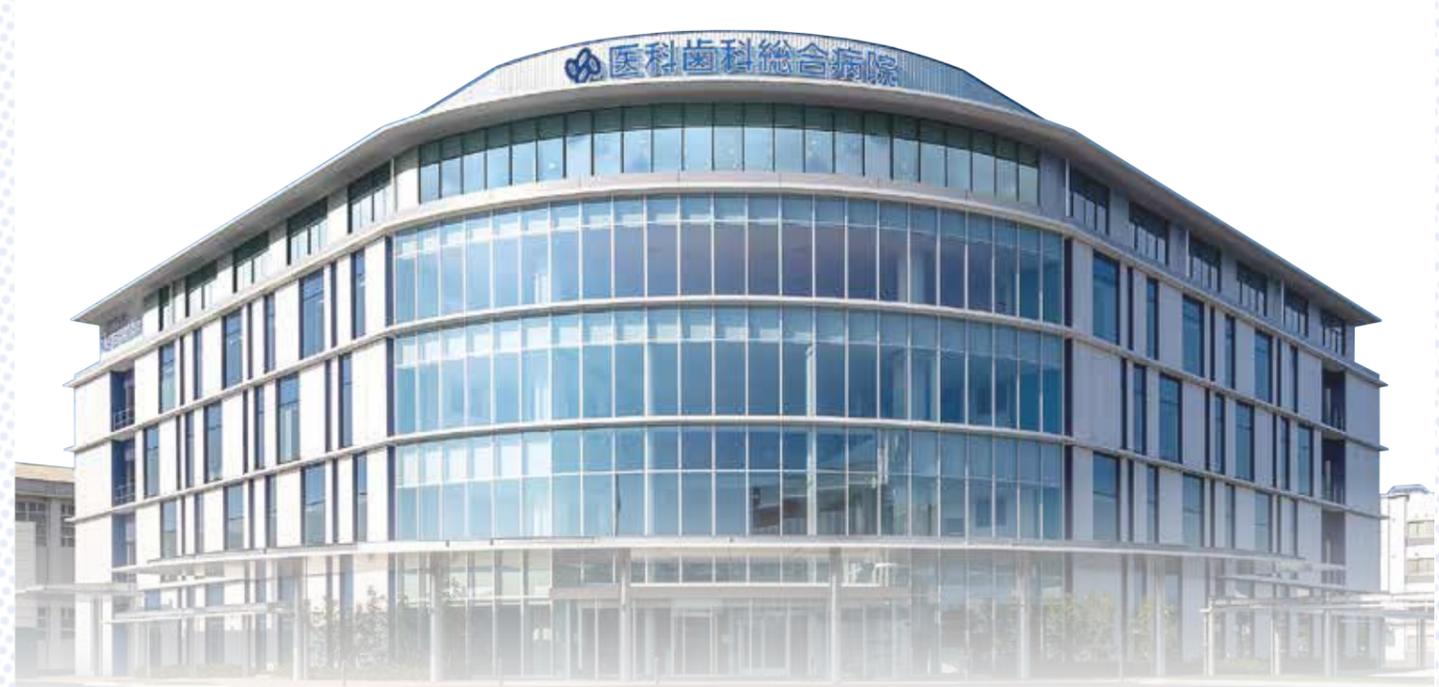


小児科・小児歯科の壁画



病棟スタッフステーション

新医科歯科総合病院は、地上5階建てで多機能画像センサーによる大診療室の照明・空調制御、井水利用などを採用し省エネ、省CO₂を実現しています。正面玄関を入れれば吹き抜けのエントランスホールが出迎え、3階からはスタンドグラスを通した日の光が優しく院内に降り注ぎます。



地域に根付く医療センターへ

福岡歯科大学医科歯科総合病院

9月29日新病院開院

開院記念式典

昨年1月に着工し、建替え工事中だった「福岡歯科大学医科歯科総合病院」の新病院が完成し、9月13日に、新型コロナウイルスの感染対策を徹底しながら、開院記念式典ならびに内覧会を行いました。本館9階講堂で行った開院記念式典では、自治体・連携医療機関の関係者が列席し、水田祥代理事長は同病院が無事完成したことを祝い、完成までに協力いただいた方々に感謝の意を述べるとともに、「子どもから高齢者まで幅広い患者層に対して、良質で高度な医療を提供し、大学病院として信頼される高度医療に加え、かかりつけ医のような地域に頼られる地域医療センターの役割を担う病院として教職員一同、努力してまいります。」とこれからの決意を述べました。



内覧会(テープカット)



開院記念式典

新病院のコンセプトをシンボルマークに

福岡歯科大学医科歯科総合病院のコンセプトは、「つなぐ」。
地域医療を担う大学病院として「つながり(連携)」を生み出す病院づくりを目指しています。



1 「地域・社会」とつなぐ

「医科歯科」の大学病院にふさわしく、病院の認知度を向上させる建物デザインとします。また、新病院棟や新厚生棟を軸とし、既存本館や研究棟、他施設とのつながりを生み出す地域に根ざし開かれた病院にします。

2 「教育・研究・臨床」とつなぐ

医者、スタッフ、学生たちが、やりがいを持って活動できる病院づくりを目指します。共有化、中央化により教育・研究・臨床を融合し効率的かつ快適に活動できる環境をつくります。その中で医療に携わる人々の育成の場となり相互に刺激を受け合えるような病院にします。

3 「医科と歯科」とつなぐ

両輪となる「医科と歯科」の連携を強化する部門配置とし、「連携」「交流」を通して、刺激を受け合いながら、歯科と医科の相互発展を目指します。

4 「未来へ」とつなぐ

将来を見据えた計画を構築したキャンパス全体でのつながりを生み出すネットワーク(幹線道路・プロムナード)を形成します。またエネルギー供給の効率化と考慮したサステナブルな病院づくりをします。